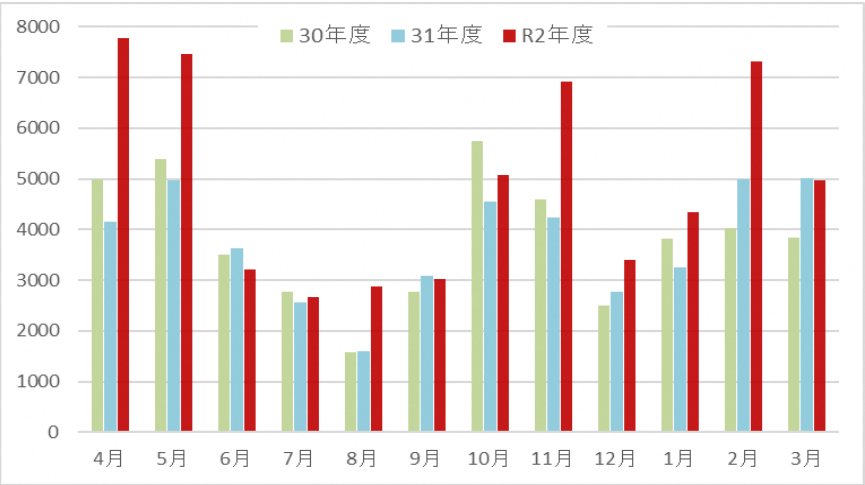
■令和２年度　新治里山公園　事業報告書

指定管理者：NPO 法人新治里山「わ」を広げる会

１．公園の利用者数（様式3に相当）

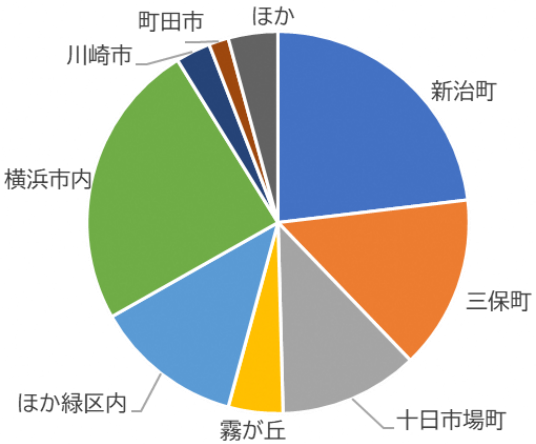
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
旭谷戸広場総数		6,337	6,328	2,613	2,223	2,461	2,511	4,281	5,717	2,649	3,430	5,045	3,852	47,447
旧奥津邸総数		1,439	1,146	606	448	406	511	797	1,200	744	918	2,269	1,117	11,601
新治里山公園総数		7,776	7,474	3,219	2,671	2,867	3,022	5,078	6,917	3,393	4,348	7,314	4,978	59,057
内　訳:														
大人		5,677	5,703	2,192	1,732	1,835	1,710	2,634	4,141	2,106	3,095	5,574	3,292	39,691
中学生以下		1,896	1,532	685	509	661	803	1,413	2,143	845	818	1,273	1,250	13,828
「わ」の会イベント・部会・会議		15	0	35	93	124	104	290	104	182	322	253	106	1,628
地域関連団体活動		0	0	5	97	0	139	416	204	7	0	0	69	937
園内ボランティア活動		124	179	228	186	162	175	240	219	168	51	147	162	2,041
その他（来客等）		64	60	74	54	79	91	85	106	85	62	67	90	917
合　計:		7,776	7,474	3,219	2,671	2,867	3,022	5,078	6,917	3,393	4,348	7,314	4,978	59,057
他団体利用	件数	1	0	0	2	1	4	14	13	3	0	3	4	45
	人数	29	0	0	61	24	114	890	1,673	330	0	212	210	3,543

【3年間の月別来訪者数（人）】



令和元年度から年間 30 日ほど月曜日を養生日と設定し、旧奥津邸側の入館を制限。コロナウィルス感染症拡大防止策の一環で朝市やイベントを開催できなかったが、緊急事態宣言下ではかえって一般来訪者が激増。　全体で前年比 132%となった。

来訪者の居住地域（右図参照）　については、来訪者およびイベントアンケート(238 件)によって調べている。近隣 4 町を含む「緑区内」が全体の　69%、緑区を含む「市内」は全体の 91%となった。



2. 業務の第三者委託実績　（様式4）

業務	内容	委託会社	年回数	実施月日	対応状況	支払金額(円)
夜間及び火災警備	建物警備(AED 含)	セコム(株)　都筑支社	通年	毎日	小動物による夜間作動対応、機器不具合対応等	1,068,384
植物管理	庭木の管理指導及び特殊樹木・高木剪定	山十四造園　＜緑区＞	15 回	5/18～22 11/9～26	マツ、キャラ、モチ、イヌマキ、北山杉などの特殊樹木剪定について対応。	483,230
設備点検	消防設備の法定点検	中山防災設備(株)　＜緑区＞	2回	9/2、 3/3	消防設備点検	155,980
施設管理	屋根等高所点検	関佳工務店　＜緑区＞	4回	6/23 、9/30 、12/25、 3/12	屋根、雨どい等を点検	55,000
植物管理	除草・剪定等	山惣　＜南区＞	通年	月７～9 日、別途斜面草刈 2 日間	毎月、作業計画会議にも参画。今年度より１名追加。9・10 月に斜面草刈り対応。	2,469,900
保守点検	空調保守点検	三菱電機ビルテクノサービス(株)	1回	10/16	主屋空調設備の点検	162,800

３．年度修繕実績　（様式5）

番号	年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況ほか	金額(円)
		法定	定期	随時		交換等	業者依頼			
1	R2.4.08、22			○	長屋門障子	障子		障子張替え	4月度月報	
2	R2.4.13			○	非常ボタン	HUB	妙光電気	非常ボタンの信号送信回路の不具合確認、HUBを交換現状復帰する。	事故物損報告	26,730
3	R2.4.25			○	管理棟引き戸	ガラス	関佳工務店	管理棟窓ガラス破損、ベニヤ板にて応急処置を施す	事故物損報告	46,500
4	R2.5.04			○	主屋雨戸			修理	5月度月報	
5	R2.5/6、6/13			○	主屋障子	障子		障子張替え	5・6月度月報	
6	R2.5.11、27			○	屋外用ベンチ			防腐剤塗装	5月度月報	
7	R2.05.18、20、21、22、26			○	植栽		山十四造園	専門業者による剪定	5月度月報	153,065

番号	年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況ほか	金額（円）
		法定	定期	随時		交換等	業者依頼			
8	R2.5/30、6/19			○	照明器具	ランプ		蛍光灯交換	5･6月度月報	
9	R2.6.23		○		建物高所		関佳工務店	地元工務店による建物高所点検	6月度月報	
10	R2.6.24		○		全域			施設定期点検	6月度月報	
11	R2.7.15			○	主屋2階			主屋2階網戸、雨戸の修理	7月度月報	
12	R2.7.17			○	管理棟			管理棟エアコンのフィルター点検・清掃	7月度月報	
13	R2.8.17			○	体験棟	センサー等	TOTOメンテナンス(株)	多目的トイレの脱臭ユニットと着座センサーの交換	8月度月報	18,810
14	R2.8.31			○	釜屋	鍵		釜屋トイレの鍵破損、予備の鍵と交換	8月度月報	
15	R2.9.02			○	主屋2階	戸車		主屋2階の引き戸戸車交換	9月度月報	
16	R2.9.02	○			全域		中山防災設備(株)	専門業者による消防設備の法定定期点検	9月度月報	69,190
17	R2.9.02			○	旧奥津邸	水道メータ	水道局指定業者	専門業者による水道メータの交換	9月度月報	
18	R2.9.07			○	主屋通用門			通用門の表示板修理	9月度月報	
19	R2.9.09			○	体験棟・工房			エアコンフィルターの点検、清掃	9月度月報	
20	R2.9.14		○		全域			第2回施設定期点検	9月度月報	
21	R2.9.30		○		建物高所		関佳工務店	専門業者による建物高所点検	9月度月報	
22	R2.10.16		○		空調機器		三菱電機ビルテクノ	専門業者による空調設備定期点検	10月度月報	162,800
23	R2.10/21、31、11/4			○	照明器具	ランプ		室内照明、庭灯蛍光管の交換	10･11月度月報	
24	R2.11.25			○	植栽		山十四造園	11/8より述べ11日間、松、イヌマキ、キャラ等特殊樹木を中心に剪定	11月度月報	330,165
25	R2.12/6、16、1/13			○	主屋雨戸			主屋雨戸の修理	12月度月報	
26	R2.12.06		○		園地全域			職員全員による園地全域の定期点検	12月度月報	
27	R2.12.25		○		建物高所		関佳工務店	建物高所点検を実施	12月度月報	
28	R3. 1.18			○	案内板			看板（道標）の修理	1月度月報	

番号	年月日	点検の種別			点検の対象	点検後の処理		処理結果	報告状況ほか	金額（円）
		法定	定期	随時		交換等	業者依頼			
29	R3. 2.15			○	空調設備	清掃		エアコンフィルター洗浄	2月度月報	
30	R3. 3.03	○			消防設備	点検	中山防災	専門業者による消防設備の法定定期点検、報告書作成	3月度月報	87,450
31	R3. 3.05			○	雨水桝	清掃		雨水桝の泥上げ	3月度月報	
32	R3. 3.12		○		建物高所	点検	関佳工務店	専門業者による建物高所点検	3月度月報	55,000
33	R3. 3.15			○	管理棟引き戸	修理		管理棟引き戸の調整	3月度月報	
34	R3. 3.23		○		全域	点検		専門家による施設定期点検	3月度月報	
35	R3. 3.26			○	釜屋	清掃		釜屋前玉砂利内の泥上げ	3月度月報	

４．年度増減備品一覧　（様式6）

今年度は該当なし

５．事故物損対応報告（様式7）

No.	年月日	事故･物損等の内容	対応結果
1	R2. 4.13	主屋多目的トイレの非常ボタン動作時の信号が管理棟に届かない。	専門業者により不具合状況を現認、HUBの不良と判明、交換。 その後、動作状態を確認、異常認めず。
2	R2. 4.25	管理棟エントランス引き戸窓ガラス破損	破損した部分にベニヤ板で応急処置を施す。セキュリテイー会社、北部公園緑地事務所に電話にて連絡。地元工務店に修理依頼。　5/18に修理完了。
3	R2. 8.17	体験棟多目的トイレ脱臭機能の不具合	専門業者に修理を要請、脱臭ユニット、着座センサーの不良を現認。　部品交換し復旧。
4	R2. 9.01	隣地境界の土留め板の腐食に伴う陥没	未公開地の隣地境界の土留め板が腐食、土が流れ陥没を現認、事故物損報告書にて報告。経過観察中。
5	R2.12.06	主屋前庭鉄柵の欠損	施設定期点検において主屋前庭の鉄柵に亀裂があることを発見し、事故物損報告書にて報告。経過観察中。
6	R3. 3.13	旧奥津邸主屋和室雨もれ	職員が洗面器等で水受けを施し、屋根裏を点検、柱づたいに雨漏りがしていることを現認した。事故物損報告書にて報告。経過観察中。

６．苦情対応報告　（様式7）　　要望･苦情件数　296 件(うち駐車場関連 279 件含む。苦情と判断したものを掲載)

No.	年月日	要望･苦情等の内容	提出された形式	処理･回答内容と対応
1	R2.4.12	園内の樹木に名前の札をつけてほしい。	口頭	景観上、全部の樹木に付けることは好ましくないことを「お客様の声」に掲示
2+	多数	◆緊急事態宣言中 主屋等の建物が閉鎖になっている、鯉のぼりが無くて残念。 ◆感染症拡大防止対策の一環 主屋や長屋門の和室が利用できなくて残念、貸し出し用の竹のおもちゃがなくなっている。	口頭	新型コロナウィルス感染症拡大防止対策とはわかっていらっしゃるが、畳の効果的な消毒作業が確定できないことなどを伝え、コロナ禍が早く収束してほしい願いを共有した。
3+	5,8,9月	十日市場駅からの道順がわかりにくい、迷ってしまった。	口頭	十日市場地区の再開発にともない、途中の道標がなくなっていることが判明。緑区役所に連絡、要請中。「わかりにくい」との意見は高齢者が多く、駅前交番に地図を置いてもらっている。
4	R2.5.29	掲示物を多言語表示にしたほうが良い。	アンケート	次年度に英訳したパンフレットを発行予定。
5	R2.9.13	もうちょっとていねいに接してほしい。　（小学生）	アンケート	常連の子どもたちの声として受け止めます！
6	R3.2.10	室内(事務所エントランス)にいる来訪者がマスクを着用していない。	口頭	気が付かなかったことをお詫びし、その来訪者にはマスクを着用してもらった。

７．市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進　（様式8）

【コロナ禍での公園の管理運営について】

緊急事態宣言以降、開放的な身近な自然環境を求めて公園や市民の森に多くの人が訪れた。

私たちは「公園とは公共の福祉に資する施設であること」を再確認し、日常の暮らしをおくる人々の「心身の健康」を維持するための場所としての認識を深めることとなった。

しかし、職員の不安も抱えつつ感染症防止対策を手探りな状態で段階的に行うことは容易なことではなかった。

まずは、職員が体調管理に十分注意しながら、日々の消毒作業を適切に行い、公園を支えるボランティアの方々とも情報交換を図り、「いま、できることを、できる範囲で」すすめてきた。

ボーイスカウト 125 団による遊水地のかいぼり（奉仕活動）

１）自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

「人と人の和」「地域の輪」「自然の環」を育むことを理念とし、多くの市民とともに「里山がそばにある暮らし」を楽しむ、伝える事業を長年にわたりすすめてきたが、4～6 月はすべて停止、7月以降に野外活動行事から少しずつ再開。しかし、「わつなぎパーク」と称した他団体や施設との連携事業はほとんど開催できず、新治里山秋まつりも中止となった。様式 11 参照。

２）市民サービス向上取組の考え方

まずは、いつもきれいであることを基本とし、「安全・安心」であることを「おもてなしの気持ち」として日常管理を行った。近所の保育園や幼稚園、小学校では、遠足ができなかったため、「遠足のかわり」に公園を長時間滞在する活用が行われた。子どもたちは放課後に遊びに来ることが増え、見守りも含め、「地域の縁側」の役割を心がけた。

３）利用促進の取組、利用者支援等の取組について

今期は団体利用が激減、一般来訪者が急激に増えたため、感染症防止対策の取り組みとともに、公園での利用ルールなどをイーゼル等で掲示。「市民の森＆公園ルールとマナー」リーフレットを作成し配布した。 Facebook では園内の自然の様子を今までより多くアップ。

小学校の「むかしのくらし探検」では、解説員が紹介するだけではなく、自ら学べるようにワークシートでの対応に切り替えた。先生方にも好評だった。

４）広報やパブリシティー取組の考え方

「新治里山ごよみ」は町内会回覧ができなくなったことを受け、5 月と 1 月に発行中止。小中学校等での配布を含め、5500 部 4 回発行した。日常を紹介するつれづれ日誌（HP 内）、facebook で発信。 コロナウィルス感染症拡大防止対策については、各種ポスターを掲示したり、神奈川県 LINE コロナお知らせシステムに登録し、QR コードを掲示。タウンニュースは日頃から「見頃」や「マナー啓発」についての掲載をしていただいた。

近隣小学校の学習会
（むかしのくらし探検）
案内係はフェイスシールド、マスク着用。

５）利用者ニーズ把握取組の考え方

気軽にアンケートを書いてもらえるよう、昨年度にひと休みする場所に設置したことで多数集まったが、今期は室内でくつろぐことができなくなったため件数が減った。次年度は web でのアンケートに注力したい。

６）公園管理上、課題ととらえている事項とその改善策案

《駐車場はないんですか？》

年間 200 件を超える問い合わせ・要望が寄せられている。わずかな駐車スペースはあるものの過去の地元要望（安全対策等）により開放されていない。迷惑駐車も予想され、今後の駐車場のあり方について横浜市との協議が必要と考えている。

《新型コロナウィルス感染症防止対策と来訪者激増の狭間で》

消毒作業が増えただけでなく、コロナ関連の通達や報告も増え、さらに隣接する市民の森でのマナー違反や怪我人の手当などの対応も行ってきた。現場の負担がかなり大きい。ほかの公園との情報交換が必要、と感じている。

8. 収支報告書 （様式9）

（円）

収入の部	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C−D)	説明
指定管理料	26,598,037	45,911	26,643,948	26,643,948	0	R1下水道料金13,938円、R2下水道料金31,973円
利用料金収入						
自主事業収入	850,000		850,000	373,990	476,010	
横浜市による運営支援		4,994	4,994	4,994	0	感染症拡大防止対策費用
雑入					0	
その他雑入						
収入合計	27,448,037	50,905	27,498,942	27,022,932	476,010	

支出の部	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C−D)	説明
人件費	17,033,000		17,033,000	17,297,175	−264,175	
給与・賃金	15,500,000		15,500,000	15,725,914	−225,914	月給制（12～20日/月）4.7人、日給制（4～12日/月）8人
社会保険料	800,000		800,000	790,963	9,037	労災・雇用保険含む
通勤手当	700,000		700,000	747,260	−47,260	13人分
健康診断費	33,000		33,000	33,038	−38	2人分
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	1,888,000		1,888,000	1,434,107	453,893	
旅費	20,000		20,000	5,020	14,980	出張旅費
消耗品費	600,000		600,000	235,272	364,728	コピー紙ほか事務用品の使用減
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	50,000		50,000	15,000	35,000	リソグラフほか。使用減
使用料及び賃借料					0	
（横浜市への支払い分）	88,000		88,000	88,008	−8	駐車場2台分
（その他）					0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設責任賠償保険	450,000		450,000	454,760	−4,760	火災保険等
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	60,000		60,000	61,298	−1,298	給与振込
リース料	30,000		30,000	17,424	12,576	コピー複合機
手数料	570,000		570,000	547,325	22,675	会計事務所（他収入と按分）
地域協力費	20,000		20,000	10,000	10,000	町内会費
自主事業費	800,000		800,000	350,000	450,000	ボランティア保険、資材等
管理費総合計	7,760,000		7,760,000	8,039,910	−279,910	
・光熱水費合計	1,962,000		1,962,000	1,723,119	238,881	
光熱水費（電気）	1,600,000		1,600,000	1,344,269	255,731	室内の使用制限、換気による
光熱水費（ガス）	77,000		77,000	68,640	8,360	
光熱水費（水道）	250,000		250,000	265,753	−15,753	
光熱水費（下水道）	35,000		35,000	44,457	−9,457	
・清掃費	70,000		70,000		70,000	管理事務所床清掃未実施
・修繕費	300,000		300,000	137,900	162,100	小破修繕(ﾄｲﾚ呼出設備修理代他)
・機械警備費	1,050,000		1,050,000	1,068,384	−18,384	機械警備委託（セコム）
・施設保全費	3,143,000		3,143,000	3,524,141	−381,141	
空調衛生設備保守	160,000		160,000	162,800	−2,800	空調設備保守委託
消防設備保守	153,000		153,000	155,980	−2,980	消防設備保守委託
電気設備保守	0				0	
害虫駆除清掃保守	0				0	
その他保全費・園地管理費	2,830,000		2,830,000	3,205,361	−375,361	ﾄﾚﾍﾟ等消耗品、感染症対策消耗品、ｺﾞﾐ回収、植物管理、点検外注費等
・共益費（合築等の場合）					0	
・公租公課	995,000		995,000	1,123,777	−128,777	他収入と按分
公租公課（事業所税）	0		0		0	
公租公課（消費税）	980,000		980,000	1,050,019	−70,019	
公租公課（印紙税）	15,000		15,000	10,000	5,000	
その他公租公課	0		0	63,758	−63,758	法人税、車検重量税
・事務経費	180,000		180,000	277,106	−97,106	
事務経費（本部分）	0		0		0	
事務経費（当該施設分）	180,000		180,000	277,106	−97,106	通信運搬費（電話・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ回線・切手等）
・その他経費（当該公園分）	60,000		60,000	185,483	−125,483	福利厚生費（感染症予防対策・お茶代等）
支出合計	27,481,000		27,481,000	27,121,192	359,808	
差引	−32,963		−32,963	−98,260	65,297	

（参考）指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	80,000		80,000	90,932	−10,932	自販機1台
設置管理許可支出合計	34,128		34,128	35,328	−1,200	5年間一括払い44,640円を換算すると8,928円、電気代26,400円
差引	45,872		45,872	55,604	−9,732	

９．運営目標・実績報告（様式 10）

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数･数値	実　績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
業務運営1（達成目標、運営業務の実施方針）	事業計画書様式2－2参照	事業計画書様式2－2参照	管理運営方針および運営業務の実施方針については、ｺﾛﾅｳｨﾙｽ感染症拡大防止対策の徹底を最優先したため、計画策定時の方針をすすめることが困難だった。	イベントやボランティア活動の推進、中長期管理計画、サイン計画の策定に手が及ばなかった。	コロナ禍の社会的状況を踏まえて公園の役割を再確認し、維持管理と利活用のバランスを図っていく。
業務運営2（利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上）	①新治里山公園運営プロジェクトの推進	・会員数の維持 ・交流会への参加数の増加	・会員数 61 名。 ・PJ交流会は中止した。	・新加入、退会による増減はあったが、会員数は維持された。	・各部会内の活動を感染症拡大防止対策につとめながら継続できることを支援する。
	②わつなぎシステム稼働	・ｵｰﾌﾟﾝｻﾛﾝ開催 ・新たな連携ｲﾍﾞﾝﾄ 1 回	・ｵｰﾌﾟﾝｻﾛﾝは断念。 ・新たに横濱ｸﾞﾘｰﾝﾊﾞﾄﾝ倶楽部（近隣マンションのｺﾐｭﾆﾃｨ）との協力イベントを実施	・わつなぎパーク関連事業としては、4 団体が 21 回（参加者 800 人）開催。	複数の関係者で一堂に会うことはできなかったが、個別に相談できる関係を築けたので、今後もﾈｯﾄﾜｰｸを拡げていきたい。
	③一般来訪者ｱﾝｹｰﾄに注力	毎月 10 人	一般来訪者:159 件 （有効:140 件） ｲﾍﾞﾝﾄ参加者:79 件	ぎりぎりだが、目標は達成。	昨年より大幅に減った（総数 238 件）。R3 年度は web アンケートを取り入れるなどの工夫をする。
	④園内サイン計画策定	野外の利用案内板設置。	簡易的にイーゼルで利用マナーを掲示。また感染症拡大防止の取り組みについて掲示。	常設するためのサインを計画することはできなかった。	古くなった看板の修繕はすすめているが、よりわかりやすいサインを検討していく。
業務運営3（人員配置、緊急時対応計画、防犯防	①適材適所且つ補完し合える人員配置	1 日の最低人数 4 人、園地管理等週 2 日実施。	人数は計画通り配置した。	なし	来訪者数増、消毒等の業務が増え、計画人数では不足している。

	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数･数値	実　績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
災、災害対応）	②緊急時・災害対応が速やかにできるよう訓練を実施	年２回訓練	10 月に緊急時(トイレ緊急呼び出し等)対応訓練を実施した。	2 回/年の計画だったが感染症拡大防止のため１回/年になった。	次年度も社会情勢を加味しながら２回/年を計画する。
	③地域の学校・消防署・警察等との連携	速やかに情報交換が行われること。	近隣の火災発生事案や、不審者情報等のコミュニケーションがよく取れている。	地元の消防団の協力による火災訓練、救急救命訓練が出来なかった。	R3 年度は消防署と協議し感染症禍における普通救急救命、消防訓練を実施する。
人材育成 **（研修実施効果等）**	常に公園のビジョン・ミッションを意識し、管理運営方針に基いた行動をできるようにする。	・月1回以上の研修または訓練を実施。 ・事故や応対のクレームがないこと。	・毎月 1 回の全員研修・訓練を実施。 ・人為的事故、接遇に関する苦情はなし。	研修の内容については様式 13 参照。	新しい内容も取り入れながらすすめる。
維持管理1 **（施設の保守管理、補修計画）**	①維持管理計画に基づき、日常管理、施設点検を行い、管理作業計画に盛り込む。	作業計画会議の毎月開催	毎月作業計画会議を実施し、作業内容の共有化を図り、優先順位を設け実施。	目標通り実施。	感染症防止対策についても作業計画に盛り込み、引き続き、効果的な作業をすすめる。
	②旧奥津邸建物群に養生日を設定し、効率的な作業を行う。	施設管理作業の効率化と経費削減	年間 30 日の養生日には、旧奥津邸エリアでの作業効率を上げることができた。	目標通り実施。	引き続き養生日を有効に活用し、来訪者の安全を確保する。
	③中長期管理計画の見直しと確認を行う。	中長期管理計画策定	横浜市が保有する長期保全計画書を入手し、当会が保有する保全計画書と照合確認。	中長期管理計画の策定には至らず。	毎年提出している指定管理者施設点検結果表を基に当会修繕委員会で情報の共有化を図る。
維持管理2 **（清掃、園地維持管理、災害対応）**	①隣接地や来訪者へ迷惑にならない心配りを徹底。	・大雪、台風等の前後に直ちに巡回、危険がないよう対応。通行者が安心して階段を上ることができる。	今年度は降雪もなく、強風による被害もなく維持管理を計画通りすすめられた。	園内に落下の恐れがある枯れ枝の処理について、土地所有者と協議、情報の共有化が図れた。	枯枝の処理について、今後も土地所有者との協議をすすめる。

	当初設定した運営目標	当初設定した目指す管理指数･数値	実　績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
	②旧奥津邸らしいたたずまいの維持と演出。	「いつもきれい、ほっとする」と言われる。	開館業務者を中心に旧奥津邸エリアの清掃、除草を実施、来訪者から好感を得る。	屋内の利用制限を行っているため、残念がられる場面もあるが、概ね理解は得られている。	利活用から見たガイドラインの充実を図るため、より具体的な草本層の管理マニュアルを検討する。
	③周辺地域への生物多様性保全の配慮。	ゲンジボタルやカワセミが園内で見られる。	ゲンジボタルは発生、遊水池には日常的にカワセミが飛来。	広場等では草丈をコントロールし、利用しつつ種の散布を抑えるなどの工夫をした。	境界となる斜面地については外部委託にて確実に実施できるよう、引き続きすすめる。
収支 **（修繕等、収入、支出）**	指定管理分、自主事業分、ほか事業との混同がないよう適正な会計管理を行う。	収支実績簿により四半期ごとに確認できる。	四半期ごとに収支を照らし合わせ、適切に管理できた。	なし	引き続き適正な会計処理につとめる。
経費節減策	ゴミルート回収の工数削減。 養生日設定による人員配置の合理化。 備品管理の徹底。	赤字額が 10 万円以内。	昨年度よりすすめている経費削減策に加え、コロナ禍における複合的な要素が加わり、結果として目標達成することができた。	感染症拡大防止対策にかかる費用が上乗せになったが、その分、ほかの経費をさらに絞り込む（今年は使わない）方向となった。	対応が不足しているところに適切に投入できるよう調整する。

段階的に施設の利用範囲を制限。
いぐさ畳の効率的な消毒方法に課題。

おひな様とつるしびな飾り。
長屋門には上がらず、
外側から見学。

１０．自主事業実施報告（様式 11）

【無料】

事業名	計　画　内　容	回数・日にち	参加者数	ﾎﾞﾗ数	備考
地域交流事業	十日市場中学校吹奏楽部の演奏会（250人）	中止			
	新治里山秋まつり（600人）	中止			
	どんど焼き（300人）	1/14	276	3	だんご頒布なし
オープンガーデン	ハーブ畑・栗林の開放（1回平均5人程度）	41	138	180	
施設活用・里山文化	むかしなつかしあそび（50人）	中止			
	お琴の演奏会、おはなし会、手仕事サロンなど（各平均10人）	イベントは中止	–	73	お琴・おはなし会・布クラフト部会による備品メンテナンスや展示準備等を随時実施
施設管理ボランティア	園内美化・除草（延べ10人/月）	52		159	公園おたすけ隊、ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄによる園地管理作業、ﾊｰﾌﾞ部会の作業
	ハーブ畑手入れ（延べ10人/月）				
	すす払い（20人）	中止			
季節展示・企画展示	正月飾り、ひなまつり、七夕、竹細工展示	7/3～7/9 8/11～8/16 9/30～10/4 11/6～11/18 12/3～1/19 1/20～3/7 2/4～3/16			七夕飾り お盆飾り 十五夜飾り 竹細工作品展 正月飾り わら細工展示 ひな飾り
里山ごよみ発行	広報紙7000部発行	4			5500部　（5月・1月 発行中止）
わつなぎｵｰﾌﾟﾝｻﾛﾝ	公園運営を考える周辺組織との情報交換会	中止			メールでの情報交換のみ

【イベント参加者アンケート】 79 件（有効：36 件）

7 プログラムでアンケートを行った。
野外活動系だけとなったが「楽しかった」「この時期に開催してくれて感謝」との感想をいただいた。
公園外で行ったプログラムもあったので、施設関連の項目がなかったため、有効数が少なくなっている。
コロナ禍が落ち着いたら、多くのイベント再開に期待している、との声もいただいた。

楽しかった？

時間配分は

【有料、ほか】

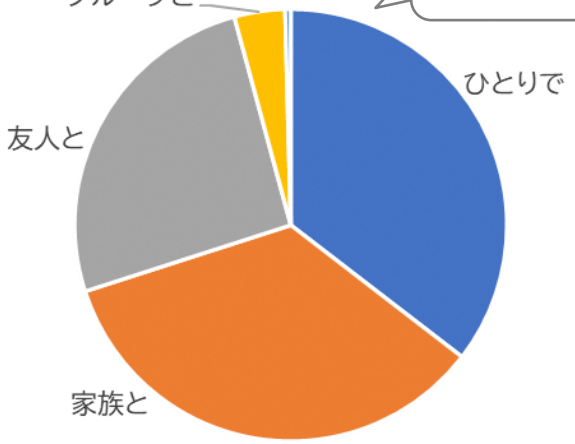
事業名	内　容（募集人数・一人当たりの参加費）	回数・日にち	参加者数	ﾎﾞﾗ数	備考
ハーブに関する事業（ラベンダー）	ラベンダーの花穂を使ったスティック作りの講習会（延べ60人、@500円）	10	45	10	摘み取りのみ実施　7/1～7/10
ハーブに関する事業（その他）	講師による料理、染色クラフトの講座（延べ50人・@1500円）	中止			
里山文化に関する事業（単発）	草だんご、かしわ餅作り、竹細工など　（延べ70人、@800～1500円）、どんど焼きだんご（80人@200円）	1	7	12	田んぼ体験（かかしづくり・稲刈り）のみ実施。食べ物関連が中止
里山文化に関する事業（連続）	竹とんぼづくり（100～300円）、竹かごづくり講座（3000円/年）など延べ70人	18	132	22	竹とんぼ工房6回 竹かごづくり12回
自然観察に関する事業	旬の里山探訪：　1回15人・@200円	6	64	42	定員減、9月再開
地域作業所、ボランティアの物品頒布	作業所のｸｯｷｰ、市民の森竹炭、竹細工、布小物、ﾎﾟﾌﾟﾘ等の物品頒布（カウンター及び秋まつり）	随時			
にいはる長屋門朝市	地元農業活性化への協力（新治恵みの里事業）	中止			
わつなぎパーク事業 ※他団体との協力事業については、当会所属のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱがいない場合はカウントしていません。	新治恵みの里発展会による農業体験（各30人程度）	11	555		秋から再開、ｻﾂﾏｲﾓ、冬野菜等
	・ﾎﾞｰｲｽｶｳﾄ横浜125団による自然体験（20人）	中止			
	・梅田川を楽しむ会との生きもの調べ（15人）	中止			有志で調査実施
	・青少年みどり遊楽舎による自然素材の子ども向け工作（15人）	9/5、12/19 3/6	30		6月中止、UFOｷｬｯﾁｬｰ、竹のけん玉、竹のｶｽﾀﾈｯﾄ
	・十日市場地域ｹｱﾌﾟﾗｻﾞ、里山会との元気づくりステーション（高齢者健康づくり）の運営（25人）	8	197		9月再開
	・753プロジェクトとのしょうゆ絞り見学会（30人）	中止			
	・NPO森ノオトとの100人のひとしずく～味噌づくり	※中止			四季の家へ仲介
	・みどりｱｰﾄﾊﾟｰｸとのｱｰﾄﾀﾞｲｱﾘｰﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（50人）	中止			
	ほか提案を受け公園の設置目的に合致した事業	12/5		3	梅田川遊水池かいぼり
		3/6	20	2	ｸﾞﾘｰﾝﾊﾞﾄﾝ倶楽部ｶﾓﾐｰﾙ植付

１１．利用者アンケート結果

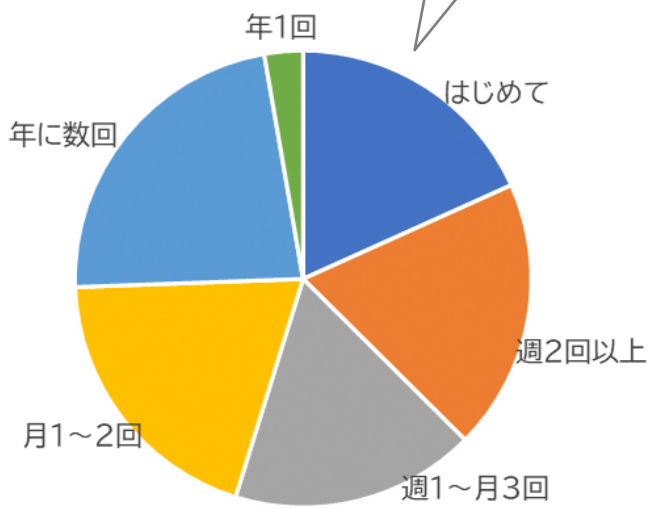
一般来訪者　：　159 件（有効：140 件）
イベント参加者：79 件（有効：36 件）

※有効はすべての項目に記載があったものですが、
各項目別の集計ではその限りとしていません。

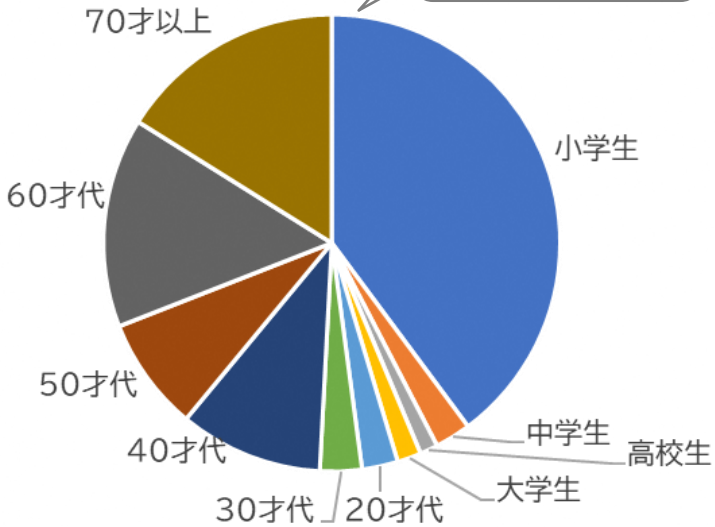
今日は誰と？
（237 件）



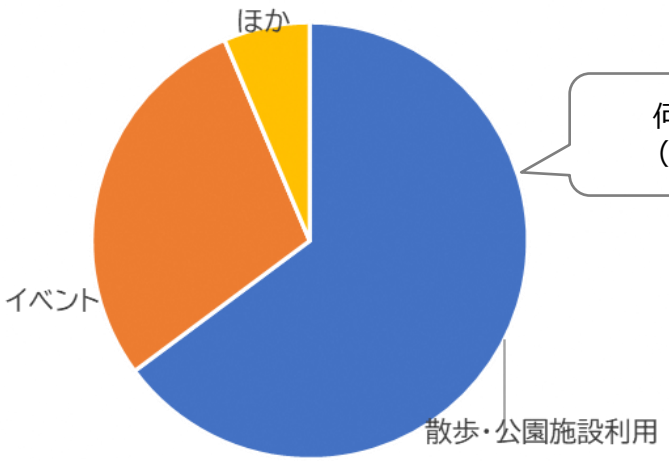
頻度は？
（219 件）



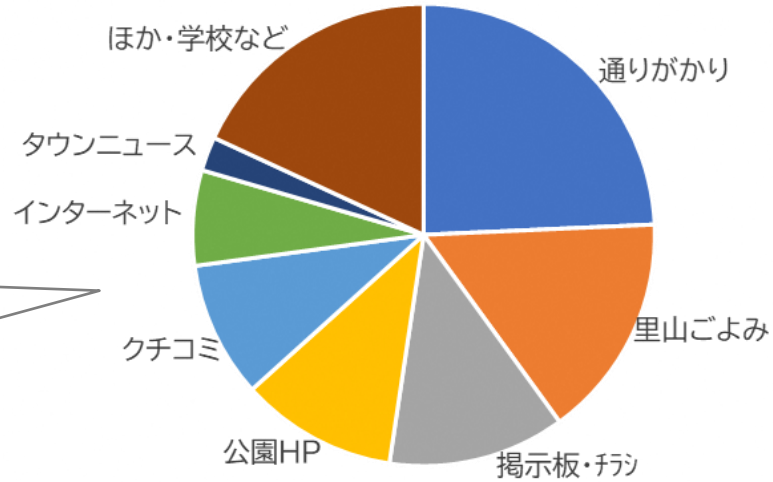
年代は？
（236 件）



何をしに？
（219 件）



情報の入手方法は？
（211 件）



■建物や外まわりのお手入れ状況について

建物内外の清潔さ　（179 件）

・あまりにきれいでびっくり。
・昔の建物と今の建物とちがう工夫がされている。

園内の植物の管理状態　（179 件）

・赤ちゃんを裸足で遊ばせられるくらいきれい。
・いつも気持ちよいところになっている。

安全性、安心感　（178 件）

・旧奥津邸もきちんと対策されていて安心できる。
・すごく工夫されていて安心。

■スタッフの接し方や掲示物について

スタッフの接し方　（178 件）

・やさしく接してくれる。
・親しみやすい。

掲示物や案内板など　（178 件）

・案内板はわかりやすい／わかりにくい。
・多言語対応にした方がよい。

■全体をとおしての総合満足度　（190 件）

・関係者の方々に感謝。
・昔のふんいきがすごい。めっちゃいい。
・駐車場を開けてほしい／なくてもよい

１２．研修実施報告（様式 13）

	実施日	研修名	参加者	内容及び効果
1	4/5	定例：全体業務の確認と感染症対策運用について	全員	今年度の業務について説明、昨年度との違いを知る。また、感染症対策を遂行し、業務を安全に行うために情報の共有を図った。
2	4/7	個人情報の取り扱い研修	事務局スタッフ	個人情報保護法及びの取り扱いについて、イベント受付等に係るメンバーで実施。
3	6/7	定例：谷戸田周辺、市民の森を歩く。	全員	改修工事後の谷戸田周辺を知り、水の工夫と自然の豊かさを学ぶ。
4	7/5	定例：ESD 持続可能な開発のための教育 （講師：横浜市 ESD 推進コンソーシアム）	全員	持続可能な開発目標 SDGsをとりいれた ESDの推進を知り、社会の変容へとつなげていく姿勢を学ぶ。
5	8/2	定例：農と福祉の連携と取り組み （講師：社会福祉法人同愛会幸陽園）	全員	連携している幸陽園の仕事、取組みを伺った。 福祉の社会資源としての農の活用を知ることができた。
6	9/6	定例：ボランティアコーディネーション （講師：認定 NPO 法人樹恩 NETWORK）	全員	ボランティアコーディネーションを学ぶことで、人や組織をつなげる力を獲得できるよう目指し、市民の参加を支える力となる。
7	10/4	定例：緊急時の対応訓練	全員	いくつかの想定事例をもとに、どんな対応が必要になるのかを実際の場で行う。
8	10/7	自然観察イベントにおけるデジタル化	スタッフ 2 名 ボランティア有志	タブレット端末を利用し、コロナ時代の自然観察会のシミュレーションを行った。
9	11/1	定例：収蔵物の展示と保存	全員	旧奥津邸内の収蔵物を点検し展示と運用について再確認できた。
10	12./6	定例：施設の定期点検	全員	年に一度、全員で行うことにより、日常巡視点検に活かす。
11	R3.2/7	定例：ボランティアとともに次年度自主事業計画	全員、 ボランティア有志	次年度活動計画づくりに全員で参加し、自主事業の把握に努めた。
12	R3.2/23	定例：リスクマネジメント研修（リモート）	スタッフ 3 名 恵みの里有志	イベントや体験教室などの事故事例を挙げて、対応の仕方や問題点を考えた。
13	R3.3/7	定例：令和 2 年度振り返り	全員	事業の振り返りをおこなうとともに、コロナ感染症対策の対応も共有した。